

No. J01	まっちゃん	年月日	令和5年7月4日(火)
---------	-------	-----	-------------

設問

[問い1] 今だったらどんな質問ができるか

- 1、小山さんはお子さんのことをどのように思われているか教えてくださいませんか？
- 2、小山さんにとってのテレワークというのはどういったものになるのでしょうか？
- 3、テレワークにおける良い点についてどのように認識されているか教えてもらえますか？
- 4、もともとしてきた今の仕事について、どのように思われていますでしょうか？
- 5、テレワークの働きづらさについては、どういったところがそう感じますでしょうか？
- 6、子育てとの両立がうまくいかなかったとは、どういうことになりますか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

(良) CL の出社とテレワークが半々で働きにくいと感じている感情に焦点を当てて面談を進めることで、CL の子供に対する思いやスケジュールが組めなくて困るという CL の内面を聴くことができた。

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

(悪) 面談途中で CL の話に対して言語的追跡ができず、CCt の方で沈黙を作ってしまう、CL の話したかった内容について焦点が当たっていなかった為、CL と信頼関係が構築できていないと思われる。

[問い3] クライアントの主訴

CL の問題は、テレワークと出社を組み合わせた今の働き方について、じっくりこない、やる気がおきかない等、の発言をしているため、会社が求めている働き方についての理解が不足している可能性が考えられる。また、子供と一緒に過ごす時間のことや仕事でのスケジュールリング、そして出社することの必要性などについて CL 自身の今後働く上で大切にしたい思いが整理出来ていないところが見受けられたため、今後のキャリアに関する価値観の理解不足も問題として存在する可能性があると思われる。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

今の会社の働き方についてじっくりこないという CL の感情を丁寧に傾聴し、現状の働き方について前向きに考えられるよう促す。その上で、現在の働き方を行っている上司や同僚に話を聴くことを提案し、会社から求められている働き方とその必要性について理解を深めてもらう。また、これまでの経験の棚卸しを促し、CL が今後のキャリアで大切にしたいことを整理し、その価値観を理解してもらえるようにする。そして、テレワークの良い面と悪い面を考えてもらいながら、CL の価値観と会社が求める働き方を統合できるようにする。以上により、CL が主体的にキャリア構築ができるよう支援する。